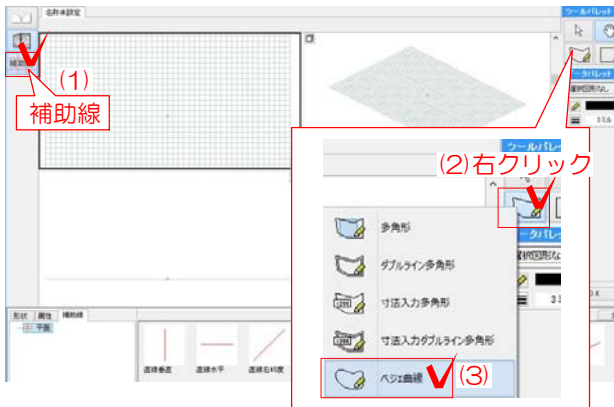


# ベジェ曲線(補助線)で飛石を作成する

eE-Formerでベジェ曲線(補助線)を使って図形を作成してみましょう。



eE-Formerのベジェ曲線補助線を使うと飛石や表札などの曲線を使った図形を作成することが出来ます。



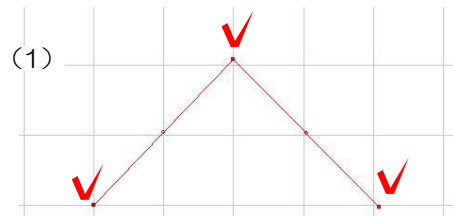
1：加工メニューからeE-Formerを起動します。


- 2：(1)補助線ボタンをクリック。  
 (2)ツールパレットの多角形のツールを右クリック。  
 (3)ベジェ曲線ツールを選択。

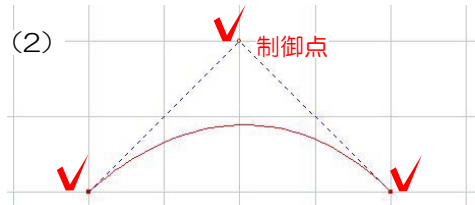


3：画面左上にボタンが表示され、どの点を指定するか描き方を選択できます。

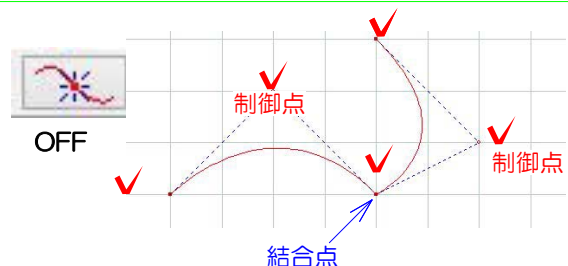
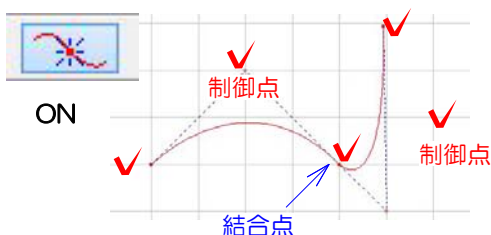
(1)  始点終点を指定する線



(2)  始点終点と制御点を指定する曲線



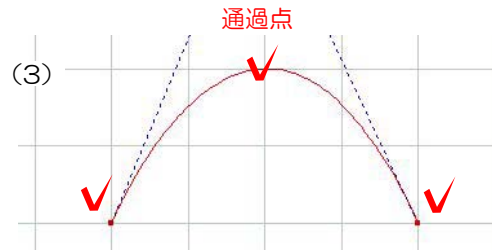
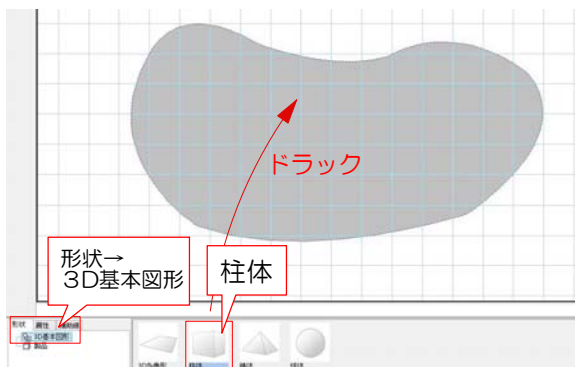
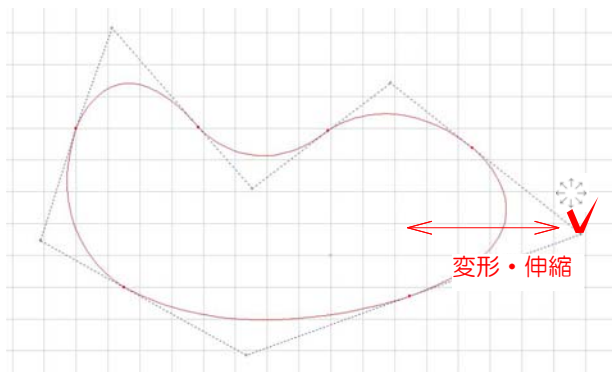
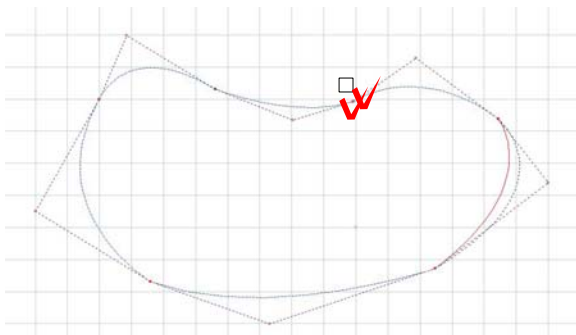
曲線を連続して描く際の結合点を滑らかにするボタン



(3)  始点終点と通過点を指定する曲線



今回は始点終点と通過点を指定する曲線を使いました




4：ベジェ曲線の種類を選び、図形を描いていきます。

上から見た画面でクリックしながら図形を作成します。

線を描き直したい時はbackspaceキーで一つ前の点に戻ります。

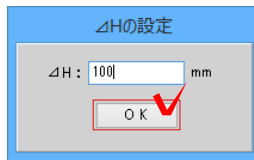
最後は始点にカーソルを近づけ口が出たらクリックします。

5：作成後、図形の点（●や○）にカーソルを近づけると、 になります。クリックして形を調整することができます。

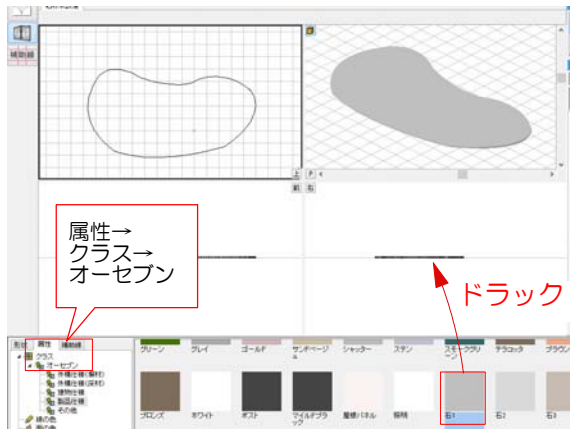
6：形状→3D基本図形→柱体を補助線の図形の中にドラックします。

補助線に隙間が空いていると作成したい形に図形が入りません。

隙間がないように補助線を調整しましょう。



7：H（高さ）を入力して「OK」をクリックします。



8：作成した図形を選択して、属性→クラス→オーセブンから仕様を選びドラックで図形に仕様を割り当てます。



9：「OK」でeE-Formerを終了して完成です。

